

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年11月24日版)


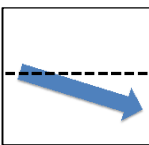


1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種 類		10月の価格情報			11月の価格情報		12月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し	「図の見方」 
		(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿 ブロック旬別平均販売 価額		(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格	指定野菜の 関東・近畿 ブロック旬 別平均販売 価額	(参考) 保証基準額 の算定の基 となる平均 価格			
			中旬	下旬						
葉 茎 菜 類	 キャベツ	74.19	122 (164%)	97 (131%)	72.93	105 (144%)	72.93	・入荷量：12,960t ・主産地：千葉(44)、愛知(24)、茨城(14) ・入荷量：3,667t ・主産地：愛知(56)、茨城(19)、兵庫(7)		・千葉産は、現在平年よりやや少なめの出荷であるが、天候に恵まれ生育はおおむね順調であることから増量が見込まれ、今後は平年並みの出荷の見込み。愛知産は、現在10月の干ばつで遅れていたものの出荷が重なり、平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産は、9月の大雨によるほ場の冠水や苗の流出で作付面積が減少したことから、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。 ・茨城産は、平年よりやや少なめの出荷と見込まれるものの、千葉産及び愛知産は安定した出荷が見込まれることから、中旬から日を追うごとに値を下げ、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。
		88.91	128 (144%)	106 (119%)	76.91	105 (137%)	76.91			
	 たまねぎ	76.15	68 (89%)	65 (85%)	76.15	62 (81%)	76.15	・入荷量：10,295t ・主産地：北海道(95) ・入荷量：3,625t ・主産地：北海道(74)、兵庫(25)		・北海道産は、現在計画的な出荷が行われているが、生育期の天候に恵まれ作柄も良好であったことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		76.15	69 (91%)	70 (92%)	76.15	68 (89%)	76.15			
	 ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	240.04	274 (114%)	205 (85%)	240.04	221 (92%)	240.04	・入荷量：6,189t ・主産地：青森(16)、新潟(14)、秋田(13)、茨城(11)、埼玉(8)、群馬(7)、山形(6)、千葉(6) ・入荷量：1,163t ・主産地：香川(19)、奈良(19)、徳島(19)、三重(12)、高知(10)、大阪(9)		・青森産及び新潟産は、特段の病害もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。秋田産は、定植直後の干ばつによる生育停滞はあったものの、その後の適度な降雨もあり生育は順調で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。茨城産は、天候不順の影響で生育遅れがみられ、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、青森産、新潟産及び秋田産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		467.01	666 (143%)	574 (123%)	467.01	522 (112%)	467.01			
	 はくさい	56.81	100 (176%)	63 (111%)	40.32	56 (139%)	40.32	・入荷量：12,999t ・主産地：茨城(83) ・入荷量：4,921t ・主産地：長野(38)、茨城(33)、熊本(8)		・茨城産は、9月の大雨の影響による定植や生育の遅れから徐々に回復し、微増傾向であるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		69.44	102 (147%)	65 (94%)	55.95	64 (114%)	55.95			
	 ほうれんそう	385.11	506 (131%)	373 (97%)	385.11	338 (88%)	385.11	・入荷量：1,611t ・主産地：群馬(42)、茨城(16)、千葉(13)、埼玉(9) ・入荷量：616t ・主産地：岐阜(35)、福岡(27)、徳島(25)		・群馬産、茨城産及び千葉産は、10月の天候に恵まれたことに加え、最近の適度な降雨と気温が高いことから、病害もなく生育は順調で、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・群馬産、茨城産及び千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		461.74	605 (131%)	445 (96%)	461.74	404 (87%)	461.74			
	 レタス (結球)	158.27	208 (131%)	164 (104%)	143.63	107 (74%)	143.63	・入荷量：6,968t ・主産地：茨城(67)、兵庫(8)、静岡(6)、香川(3) ・入荷量：1,542t ・主産地：兵庫(42)、茨城(19)、徳島(15)、香川(13)		・茨城産は、10月の天候に恵まれ生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。兵庫産は、現在平年並みの出荷であるが、最近の天候に恵まれ生育は順調で大玉傾向となっていることから、今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産及び兵庫産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		152.57	215 (141%)	156 (102%)	154.61	115 (74%)	154.61			
果 菜 類	 きゅうり	262.75	260 (99%)	236 (90%)	262.75	232 (88%)	370.98	・入荷量：4,682t ・主産地：埼玉(26)、群馬(18)、宮崎(18)、千葉(10)、高知(10) ・入荷量：892t ・主産地：宮崎(43)、高知(22)、大阪(9)、群馬(9)		・埼玉産は、天候に恵まれ生育は順調であるものの、作付面積の減少により、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。群馬産は、終盤を迎え、天候不順の影響で切り上がりが早まる見込みで、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。宮崎産は、生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・宮崎産の出荷が平年並みと見込まれるものの、埼玉産及び群馬産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれ、特に群馬産が下旬以降少なくなることが見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、平年並みに回復する見込み。
		284.72	280 (98%)	238 (84%)	284.72	224 (79%)	350.33			
	 トマト (大玉)	315.83	430 (136%)	354 (112%)	315.83	307 (97%)	349.23	・入荷量：4,948t ・主産地：熊本(32)、千葉(17)、愛知(14)、茨城(12) ・入荷量：975t ・主産地：熊本(61)、愛知(7)		・熊本産は、10月から天候に恵まれ着果が良く、大玉果傾向で病害も特段なく生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、天候不順の影響による生育遅れから回復し、大玉傾向となっており、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。愛知産は、天候不順の影響から回復し、病害もなく着果状態が良いことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・愛知産の出荷が平年並みと見込まれるものの、熊本産及び千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、中旬から値を下げ現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		337.88	442 (131%)	389 (115%)	337.88	298 (88%)	326.61			
	 なす	301.00	338 (112%)	292 (97%)	301.00	289 (96%)	389.03	・入荷量：2,366t ・主産地：高知(54)、福岡(14)、栃木(10) ・入荷量：454t ・主産地：高知(42)、熊本(24)、福岡(16)、岡山(9)		・高知産は、最近の天候に恵まれたこともあり樹勢が良く生育は順調であるが、一部で病害の発生は見られたため、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、最近の夜温が高いため生育が促進され、現在平年よりやや多めの出荷となっており、生育は順調であることから、今後も引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・福岡産の出荷が平年よりやや多めと見込まれるものの、入荷量の5割を占める高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。
		263.21	326 (124%)	274 (104%)	263.21	272 (103%)	397.74			
	 ピーマン	263.58	310 (118%)	318 (121%)	378.83	293 (77%)	378.83	・入荷量：2,108t ・主産地：茨城(51)、宮崎(20)、高知(13) ・入荷量：456t ・主産地：宮崎(41)、高知(17)、鹿児島(13)、茨城(8)		・茨城産は、天候に恵まれ、気温も高めに推移していることもあり、病害もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、最近の天候に恵まれ、病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、宮崎産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		282.16	328 (116%)	308 (109%)	371.29	224 (60%)	371.29			
根 菜 類	 だいこん	67.55	85 (126%)	69 (102%)	67.55	66 (98%)	67.55	・入荷量：12,605t ・主産地：千葉(62)、神奈川(14)、青森(12) ・入荷量：2,922t ・主産地：長崎(19)、徳島(14)、千葉(11)、和歌山(11)、石川(9)、青森(9)		・千葉産は、天候不順の影響から回復したことに加え、最近の適度な降雨と気温が高いことから肥大が進み、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。神奈川産は、天候不順の影響で播種作業の遅れがあり、現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、その後の天候に恵まれ病害もなく生育は順調であることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・神奈川産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、上旬半ばから日を追うごとに値を下げ、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。
		76.48	94 (123%)	84 (110%)	76.48	81 (106%)	76.48			
	 にんじん	123.08	107 (87%)	102 (83%)	105.86	112 (106%)	105.86	・入荷量：7,439t ・主産地：千葉(45)、北海道(38) ・入荷量：2,628t ・主産地：北海道(54)、長崎(37)		・千葉産は、9月の天候不順の影響で生育に遅れが見られたものの、10月の天候に恵まれ生育は回復したことに加え、最近の適度な降雨と気温が高いことから肥大が進み、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		123.11	104 (84%)	101 (82%)	104.49	117 (112%)	104.49			

種 類		10月の価格情報			11月の価格情報		12月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し	<div>「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準</div>
		(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格	指定野菜の関東・近畿 ブロック旬別平均販売 価額		(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格	指定野菜の 関東・近畿 ブロック旬 別平均販売 価額				
			中旬	下旬		上旬	(参考) 保証基準額の 算定の基 となる平均 価格			
い も 類	さといも	220.97	284 (129%)	248 (112%)	220.97	227 (103%)	220.97	・ 入荷量：1,263t ・ 主産地：埼玉（60）、千葉（16）		・ 埼玉産は、9月の天候不順の影響で掘り取り作業が遅れていたが、最近の好天で収穫作業が回復傾向となっていることに加え、病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、特段の病害の発生は見られず、生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 ・ 埼玉産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。
		217.56	277 (127%)	274 (126%)	217.56	286 (131%)	217.56	・ 入荷量：337t ・ 主産地：愛媛（42）、宮崎（25）、福井（18）、熊本（5）、鹿児島（3）		
	ばれいしょ	96.99	101 (104%)	97 (100%)	96.99	92 (95%)	96.99	・ 入荷量：7,677t ・ 主産地：北海道（98）		・ 北海道産は、生育期の天候に恵まれ、生育は順調だったことから豊作傾向となっており、今後は貯蔵ものの計画的な出荷で、平年よりやや多めの出荷の見込み。 ・ 北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、概ね平年並みに推移していた価格は、平年を下回って推移する見込み。
		96.99	94 (97%)	91 (94%)	96.99	90 (93%)	96.99	・ 入荷量：3,292t ・ 主産地：北海道（92）、長崎（8）		

注： 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込(さといもは前年実績)、近畿は前年実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種 類		10月の価格情報			11月の価格情報		12月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し	<div>「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準</div>
		(参考) 過去5カ年 平均価格	東京・大阪市場の 旬別価格		(参考) 過去5カ年 平均価格	東京・大阪 市場の 旬別価格	(参考) 過去5カ年 平均価格			
			中旬	下旬		上旬				
洋 菜 類	ブロッコリー 	358.00	510 (142%)	445 (124%)	282.01	401 (142%)	313.68	・入荷量：2,547t ・主産地：埼玉 (47)、群馬 (12)、愛知 (10)、栃木 (6)、香川 (4)、千葉 (3)		埼玉産は、11月上旬までは干ばつ傾向で生育に遅れが見られたものの、最近の降雨により、生育が促進されたことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、天候不順による生育の遅れがあったものの、最近の適度な降雨と気温高により生育の遅れから回復し、生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。愛知産は、生育期の低温及び10月の干ばつの影響で生育の遅れが回復していないことから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、埼玉産及び群馬産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、上旬から大きく値を下げ、現在平年並みの価格は、平年を下回って推移する見込み。
		380.62	542 (142%)	476 (125%)	359.34	428 (119%)	376.05	・入荷量：634t ・主産地：鳥取 (35)、徳島 (18)、長崎 (7)、長野 (6)、北海道 (5)、輸入 (5)		
根 菜 類	ごぼう 	226.21	254 (112%)	247 (109%)	210.20	271 (129%)	255.27	・入荷量：1,285t ・主産地：青森 (81)、茨城 (10)、北海道 (3)		青森産は、生育期の天候に恵まれ、特段の病害の発生もなく生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。降雪までは収穫作業は続くが、降雪後は貯蔵ものの計画的な出荷が行われる見込み。 ・青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っていることから、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		155.41	189 (122%)	188 (121%)	157.67	178 (113%)	184.81	・入荷量：783t ・主産地：北海道 (38)、青森 (34)、茨城 (21)、輸入 (3)		

注： 1 平均価格は、過去5年間（平成22年から26年）の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは平均価格を80%を下回るもの（消費税は除く）。
3 単位は円/kg、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場である。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、9月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,836gで平年比103%、購入金額は、2,143円で同116%となった。 また、小売物価統計によると、10月のキャベツの小売価格は、299円で過去5カ年平均比172%、トマトは、823円で同104%、だいこんは、182円で同98%、ばれいしょは、328円で同103%となり、だいこんで平年を下回ったものの、その他の品目で平年を上回った。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）									
	年	過去5カ年平均		平成26年		平成27年				
		購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	購入金額（円）	購入数量（g）	平年比	購入金額（円）	平年比	
	1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	102	1,755	107	
	2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	103	1,761	106	
	3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	101	1,939	107	
	4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	98	2,070	112	
	5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	98	2,257	118	
	6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	100	2,157	113	
	7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	99	1,966	113	
	8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	98	1,998	115	
	9月	4,688	1,844	4,745	2,035	4,836	103	2,143	116	
	10月	5,191	1,902	5,455	1,973					
	11月	4,990	1,700	5,291	1,704					
	12月	5,146	1,927	5,233	1,977					

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」
注：平年は、過去5カ年平均(平成22～26年)。

 主要野菜の小売価格(東京都区部) | | | | | | | | | || | キャベツ | | トマト | | だいこん | | ばれいしょ | | | |
	平成27年	平年比(%)	平成27年	平年比(%)	平成27年	平年比(%)	平成27年	平年比(%)		
1月	229	108	663	99	154	102	313	99		
2月	202	91	696	107	170	100	316	100		
3月	169	82	766	109	157	91	324	102		
4月	255	105	747	106	192	110	358	106		
5月	273	168	702	114	212	138	409	114		
6月	188	137	648	116	160	107	443	126		
7月	167	104	608	105	188	116	474	144		
8月	188	136	593	102	199	122	437	134		
9月	226	143	748	109	204	110	343	106		
10月	299	172	823	104	182	98	328	103		
11月										
12月										

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 平年は過去5カ年平均（平成22～26年）。
2 平成27年10月の値は、10月中旬の速報値。

3 野菜の輸出入動向

貿易統計によると、9月の野菜の輸入量は、生鮮野菜が、5万7千トン（前年同月比98%）、加工野菜が13万2千トン（同93%）、野菜全体では、18万9千トン（同94%）となった。このうち、中国産野菜合計は11万1千トン（同99%）のとなった。 生鮮野菜及び加工野菜で、前年を下回ったことから、野菜全体では前年をかなりの程度下回った。 また、輸出量は、生鮮野菜が、1,353トン（同166%）、加工野菜が、1,772トン（同128%）、野菜全体では3,125トン（同142%）となった。生鮮野菜及び加工野菜で前年を上回ったことから、野菜全体では前年を大幅に上回った。	野菜の輸入数量									
	区分	平成25年	前年比	平成26年	前年比	平成27年1月～9月	前年同月比	平成27年9月	前年同月比	
	生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	647,932	93	57,361	98	
	加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	1,313,042	96	132,044	93	
	野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	1,960,974	95	189,405	94	
	うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	1,003,009	95	111,457	99	
	中国産シェア	52		53		51		59		

（単位：トン、%）

 野菜の輸出数量 | | | | | | | | | || | 区分 | 平成25年 | 前年比 | 平成26年 | 前年比 | 平成27年1月～9月 | 前年同月比 | 平成27年9月 | 前年同月比 | |
	生鮮野菜	9,406	145	9,573	102	8,216	127	1,353	166	
	加工野菜	14,174	122	17,061	120	14,214	121	1,772	128	
	野菜合計	23,581	130	26,634	113	22,430	124	3,125	142	

（単位：トン、%）

 主な生鮮野菜の輸入先（平成27年9月） | | | | | | | | | || | | 合計 | 1位 | 2位 | 3位 | | | | | |
			国名	数量	国名	数量	国名	数量		
	たまねぎ	21,382	中国	20,855	アメリカ	515	ニュージーランド		12	
	にんじん及びかぶ	7,547	中国	7,438	オーストラリア	90	ニュージーランド		11	
	ねぎ	5,402	中国	5,402						

（単位：t）

 主な生鮮野菜の輸出先（平成27年9月） | | | | | | | | | || | | 合計 | 1位 | 2位 | 3位 | | | | | |
			国名	数量	国名	数量	国名	数量		
	ながいも	571	アメリカ	274	台湾	247	シンガポール		48	
	たまねぎ	172	台湾	164	香港	6	マレーシア		2	
	にんじん及びかぶ	155	台湾	153	香港	2				

（単位：t）

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」)

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.allio.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。
※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。